

平成15年12月4日  
国土交通省

## 国土交通省紹介施策

施策名 海洋環境保全教室

### 1. 背景

漂着ゴミ分類調査ではタバコのフィルターやビニール袋、ペットボトル等が常に上位に上がっており、また、企業の排水は各種の法令により規制されても家庭からの排水には規制がない。このため、海洋の環境保全において、ゴミのポイ捨てや家庭排水など一般市民の生活から生じる環境負荷は無視できない状況にある。

### 2. 目的

一般市民、特に次世代を担う子供達に海洋環境保全思想を指導・啓発する。

### 3. 施策の概要（対象、内容、効果）

主に小中学生を対象に、総合学習の時間などを利用し、海洋環境保全教室を開催する。内容は、学校・自治体・NPO（全国クリーンナップ事務局等）と協力し、年齢に応じて、漂着ゴミ分類調査、水

質調査実験、体験航海等を行う。本施策を通じて、モラルの向上が  
図られ、将来的な環境負荷の低減が期待される。

4. 連絡先：海上保安庁警備救難部防災課

氏名 林王弘道 内線番号74-325

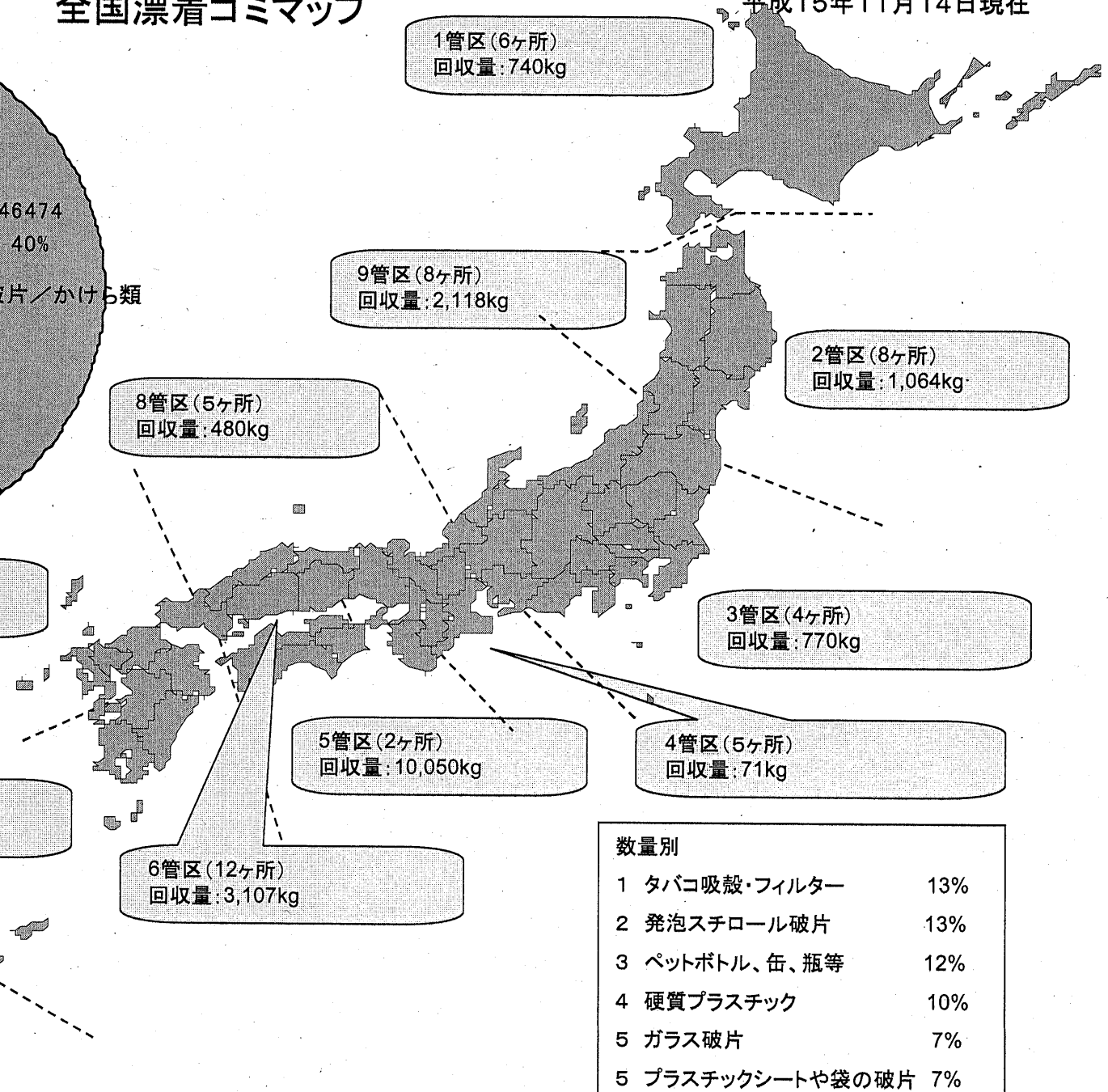
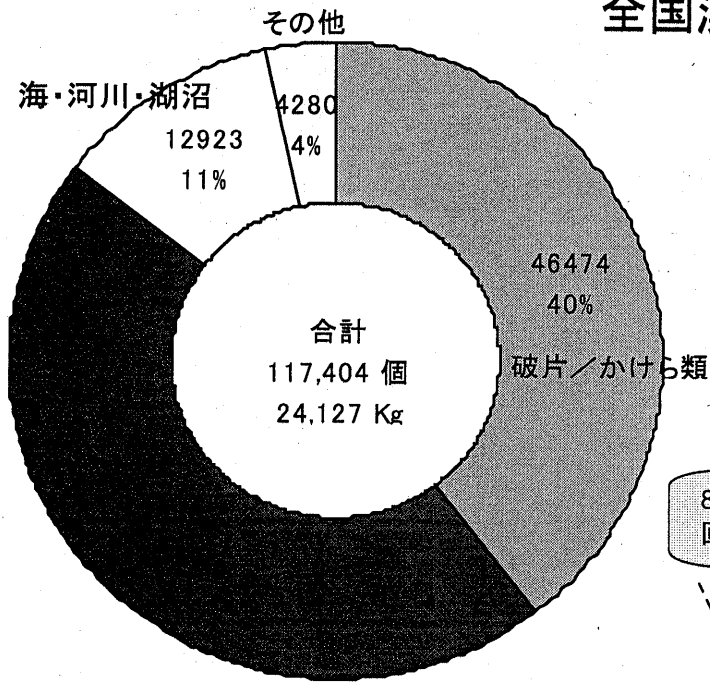
## 海洋環境保全教室

本年6月には、全国126箇所10263人  
に対して海洋環境保全教室を開催した。  
また全国49箇所ですづきゴミ分類調査を  
開催し、4046人の参加者を得た。



# 全国漂着ゴミマップ

平成15年11月14日現在



数量別	
1	タバコ吸殻・フィルター 13%
2	発泡スチロール破片 13%
3	ペットボトル、缶、瓶等 12%
4	硬質プラスチック 10%
5	ガラス破片 7%
5	プラスチックシートや袋の破片 7%